院

勝

を争点として報じた。

ービス)という情報発 ネットワーキング・サ

か。そうしなければ多 アには必要ではない

今、何が問題・争点

立望む」(13日付)など

第23回参院選。 聞の22日付論説は 謙虚で慎重な政権運

茨城

PP

憲法改正、

と課題を挙げ、

目民党圧勝で終わっ

社会保障制度改革、T

また、連載企

画「夏決

なのかを伝える〈議題

参院戦に問う。で

設定〉はマスメディア

せられた。

05年の選挙では

郵

それを報じるだけに陥

採った時、メディアは

る民主党にまんまと乗

くしたメディア戦略を

た。政治家が計算し尽 信で支持率を伸ば

性を指摘する者は誰も 数派の意見に潜む危険

なくなる。主観を鍛

選では小沢一郎氏率い イア戦略に、09年衆院 指揮する自民党のメデ 一郎氏と世耕弘成氏が

改正賛否

3

も」と1面の見出し。 焦点 憲法改正の是非

て支援 母親、仕事両 り」(12日付)、「子育

る読者・視聴者は、マ もう一つ、受け手であ 道するという機能と、

事なものだった。

を見せつけるなど、見 われる菅氏の短気ぶり

者が思う以上に現場で れ、多くの読者、視聴 ーナリズムの原則とさ

行られている。それこ

"イラ菅"

報じる客観主義はジャ ことをあったままに」

らこそである。

(7月前半分の

音が聞こえる現在だか ズム、そんな時代の足

優しい顔したファシ

公正中立と「あった

村上

路

だろうか。7月5日の 期間中、何を報じたの

及

(11日付)、「原

取材と判断によって報 な議題について自らの ジャーナリストが重要

語る竹中平蔵氏をぶつ

に、じくじたる思いが

では現場にいただけ り、05年、09年の選挙

との対談にはソフトに

出も、例えば菅直人氏

られ、メディアへの露 政民営化」と争点を絞

くテレビの報道に携わ ってしまう。筆者は長

でも提起するべき議題

えた時、今回の参院選 必要はないか。そう考 凛として主観を報じる えに鍛えて鍛え抜き、

はもっとあったのでは

で、アベノミクス効果 宮を」という見出し

と提言した。

では茨城新聞は選挙

日付)、「アベノミク 約、手腕が鍵に」 付)、「農業 農地集

10

フェッショナルである

面がある。一つはプロ

る。それには二つの側 の大きな役割といわれ

中小企業へどう波

や議論を期待したい」 とは一線を画した判断

『考えよう』」(9日

、地方波及、消費税、

乗らぬ主

観

公示日は

「ねじれ解消

再稼働論議置き去

授、放送作家。専門は茨城大学人文学部教

程中退。放送作家とし

受け手に与える効果で

積極的に地方へ出てビ

域一番戦略」を採り、

と、長い間考えられて

きたからだ。だが、それ

だけでは乗ぜられる。

09年、小沢氏は

地

そが民主主義を育てる

社外

ールケースを台に演説

て報道、ドキュメンタ

、ドラマ、バラエ

え手であるメディアの ある。だからこそ、伝

した。それを地元の新

聞、テレビがトップで

け、あえて暴論を述べ

自民圧勝の結果を受

「私の郷土紙批評」は、

部教授で放送作家の村上信夫

ういく の鷲田美加さんが担当します。

有識者による茨城新聞の紙面批 評です。7月分から12月分ま 月の前半を茨城大学人文学

アィーなど幅広いジャ

ンルを手掛け、201

むらかみ・のぶお

論。立教大学大学院修

報じることを重要だと スメディアが繰り返し

信じてしまうという、

· 課程修了。 同博士課

茨城大学教授

リテラシー論、リスク

はか。水戸市在住。 事がとまらない理由_

は、

当時首相の小泉純

SNS(ソーシャル

なえる勇気が、メディ っても、あえて否をと

はインタビュー出演と

今回、安倍晋三首相

見にたとえ屁理屈であ

る。多数が是とする意

005年の衆院選で

2年4月、茨城大学に

だが、過去に何度か

思い出がある。2

有任。著書「企業不祥

メディア論、メディア